

NewsLetter Kumamoto



ニュースレターくもと 2014年 Spring 春 Vol.101

■発行：一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団
〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館
TEL: 096-359-2121 e-mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp
URL: <http://www.kumamoto-if.or.jp/>

■Publisher: Kumamoto International Foundation
KCIC 4-18 Hanabata-cho, Chuo-ku, Kumamoto City, 860-0806
TEL: 096-359-2121 e-mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp
URL: <http://www.kumamoto-if.or.jp/>

CONTENTS

1- 4P 2014 年度事業紹介

5P ちょっといわせてはいよ

6P 世界を知る

7P 未来のために

8P ちょっとにほんご

～国際交流会館を拠点に人と人をつなぐ国際交流で豊かな未来を創造する。～
を理念として、熊本市の国際化を推進して参ります。

平成 26 年度がスタートしました。前回冬号でも触れましたが、熊本市国際交流会館の指定管理者としての新たな 5 年間のスタートする年でもあり、また、熊本市国際交流会館が平成 6 年 9 月にオープンしてから 20 年の節目を迎える年でもあります。この新しいスタートを始めるにあたりまして、改めて私ども一般財団熊本市国際交流振興事業団(以下、事業団と称します。)の組織や事業をご紹介します。

I. 事業団の組織

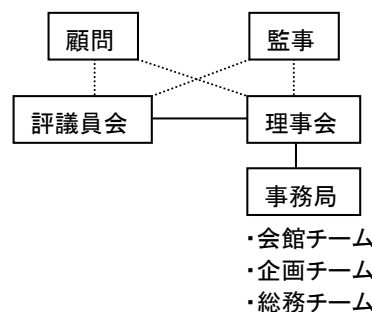
先ず事業団の組織体をご紹介します。事業団は下記の図の通り、大きく3つの機関と、顧問、監事から構成されており、理事会の選任や定款の変更などを監視する機関の評議員会、そして実施事業や予算の承認を行う理事会、そしてその決定された事業を実施する事務局です。

それぞれの主な役割についてご紹介します。

(評議員会、理事会の主な役割)

評議員会	理事、監事や評議員会長の専任や、定款の変更などを決議
理事会	事業団の役員で、事業団の事業計画や予算決定などを承認する機関。理事長が事業団の長となる。
事務局	実質的な運営を行う機関。3つのチームで編成する。
会館チーム	会館の貸出や施設管理、まちづくりに関する事業を担当。
企画チーム	多文化共生、ひとづくり推進、国際化推進事業を担当。
総務チーム	経理、財産管理、事業団の組織運営に関する事業を担当。

(組織図)



さて、ここからは、事業団が実施する事業計画について、事業概略と実施時期等についてご紹介します。
ご興味、ご関心がある事業がございましたら、是非、お気軽にお問い合わせください。

II. 多文化共生事業

・・・国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうと努力しながら、地域社会の一員として共に生きていく「多文化共生社会」の実現のため、在住外国人の方々のコミュニケーション支援、生活支援そして地域づくりを推進します。

①多文化共生オフィス運営事業(11:00～18:00)

国際交流会館 2F の同オフィスに、主に外国人市民のために多言語による相談対応や情報収集、情報発信などを行います。

(ア) 多言語相談

相談員がそれぞれの言語に対応した相談を受け、適切なアドバイスを行います。

◆多言語による相談日

言語	相談日時
英語、日本語	随時 11:00-18:00
中国語	火曜日 13:00-17:00
ドイツ語	水曜日 13:00-17:00
韓国語	木曜日 13:00-17:00
スペイン語	第1金曜 13:00-17:00
タガログ語	第2水曜 13:00-17:00
中国人のための生活教育相談	水曜、金曜 13:00-18:00
出入国管理相談	第1水曜 13:00-15:00
法律相談	第3土曜 14:00-16:00

②地域サポート事業、ソーシャルワーク活動

熊本市の保健センターや児童福祉課などの要請に応じて、地域で暮らす外国人市民の元へ出向いて通訳サポートや、問題の解決までをサポートするソーシャルワーク活動を行うとともに、外国人市民が地域に溶け込めるように地域のイベントなどに案内するなどの活動をしています。

◆活動時期：随時（依頼による対応）

③日本語教育支援事業

外国人市民の様々なニーズに対応した日本語学習教室を開催します。

(ア) 暮らしのにほんごクラブ

生活日本語支援ボランティアの方々が運営する日本語教室。日本語の学習や文化体験、交流会を行います。生活日本語支援ボランティアも随時募集中です。

◆火曜日 10:00～12:00

◆水曜日 10:00～12:00、14:00～16:00、18:30～20:00

◆日曜日 10:00～12:00、14:00～16:00



日本文化体験「月見団子作り」の様子



「暮らしのにほんごクラブ」学習風景

(イ) 市政だよりの翻訳

「市政だより」の中で、生活に必要な情報を、英語、中国語、韓国語に翻訳して、事業団ホームページに掲載しています。

◆掲載時期：毎月初めに事業団ホームページ上に掲載。

(ウ) 生活、防災 多言語メールマガジンの発信

気象庁が発令する警報以上の天気や災害情報、在住外国人の生活に必要な情報などを、英語、中国語に翻訳してメールで送付しています。

◆発信時期：毎月10日頃

◆メール登録者を随時募集。登録希望の方は

pj-info@kumamoto-if.or.jp へ「お名前・国籍・在留資格・希望言語（中国語・英語）」を記載の上、ご連絡ください。

(イ) 地域日本語教室（健軍教室、武蔵ヶ丘教室）

国際交流会館から少し離れた地域で、近隣在住の外国人市民のための小規模日本語教室を開催しています。

健軍教室 ◆毎週火曜日 10:00-11:30

武蔵ヶ丘教室 ◆毎週火曜日 10:00-11:30

(ウ) 初級日本語集中講座

1日6時間、基礎的な日本語の文法や語彙を集中して学習する講座を開催しています。

3日間コースと、6日間コースを設けています。

◆実施時期（予定）6月、9月、12月、3月頃

◆受講料：

3日間コース 1,500円／6日間コース 3,000円

◆定員：10名

④. 外国人のための防災支援事業

外国人市民の方々に、日頃からの防災意識を高めてもらうために、地域の防災訓練と一緒に参加したり、多言語防災カードを配布したり、防災メールを発信しています。

◆開催時期：9月頃

◆参加費：無料

⑤. 外国籍児童のための教育サポート事業

母国から呼び寄せられた日本語を母語としない子どもたち、「外国にルーツを持つ子どもたち」への日本語学習支援のため、熊本市日本語支援センター校（黒髪小学校、桜山中学校）や、「外国から来た子ども支援ネット」の関係者と連携を図りながら、日本で生活をしていくための教育が受けられるように支援をしています。また、高校生進学のための「[外国・中国帰国生徒と保護者のための進路ガイダンス](#)」を開催します。

◆進路ガイダンス実施時期：7月頃

Ⅲ. 地球市民育成事業

…広い視野を持ち、世界に通用する若い世代の人材育成、自己発見、コミュニケーション能力の向上を図ることを目的としています。

①ひとづくり推進事業

(ア) インターンシップ事業

事業団の事業を体験していただく日本人の高校生や大学生、海外の大学生などをインターンシップとして受け入れます。

◆募集時期: 随時募集(依頼により対応)

(イ) 国際ボランティアワークキャンプ

高校生や留学生たちが、ボランティアについて考える合宿型ワークショップを行います。

◆開催予定日: 8月15日～17日

(阿蘇にて2泊3日)

◆募集時期: 6月頃

◆参加費: 5,000円程度の実費

(ウ) 英語で知ろう熊本学講座

郷土の歴史などを正しく学び、それを英語に置き換えて学習し、海外からの観光客にボランティアガイドを行う講座を開催します。

◆開催予定時期: 10月～12月頃の
日曜日(7～8回)

◆受領料: 有料 * 金額は未定

②. 国際交流ボランティア活用事業

各種ボランティアの募集と、活動の斡旋を行います。

＜語学ボランティア、情報ボランティア＞

語学力を活かした翻訳や通訳などの活動

＜ホストファミリーボランティア＞

外国人に日本家庭の文化を体験してもらうため、ホームステイやホームビジットを通して交流する活動

＜地域国際化推進ボランティア＞

外国人市民が自国の文化や料理の紹介を行う活動

＜文化ボランティア＞

外国人に日本の文化を紹介する活動

＜生活日本語支援ボランティア＞

外国人市民の、日本語学習を支援する活動

＜サポートセンターボランティア＞

国際交流会館の1F、2Fの管理や接客を行う活動

＜学生ボランティア＞

事業団の事業サポートを行う活動

③世界を良く知るセミナー

世界情勢などのトピック等をテーマにしたセミナーを開催。

◆実施時期: 5月下旬

④地域国際化推進事業「出前事業」

外国人市民を地域の学校やコミュニティに派遣し、異文化講座や外国料理づくり体験などを行います。

◆実施時期: 随時募集(依頼により対応)

⑤館内体験プログラム「ウォーキングガイド」

国際交流会館内で活動する事業団をはじめ、国際協力団体、フェアトレード団体、環境団体の活動や、ものづくり体験などを行います。

◆実施時期: 随時募集(依頼により対応)

⑥ニュースレター発行事業

当刊行物を発行し、国際交流に関する情報提供などを行います。

◆発行月: 年4回(4月、7月、10月、1月)

◆無料で配布

Ⅳ. 国際化推進事業

…様々な講座や催し物、外国人との交流事業を通じて、海外の言語や文化を学び、市民の国際化を推進します。

①グローバルカレッジ

各種語学教室を始め、子ども向け英会話教室、インターナショナルサロンなどを行います。

(ア) 語学教室

英語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語、子ども向け英語クラブなどを開催します。

◆実施時期: 通年(週1回の12回コース、18回コース/子ども英語クラブは、夏休み、春休みに開催。)

◆募集時期: 講座開催の2か月前ごろ ◆受講料: 有料

(イ) インターナショナルサロン

熊本市国際交流員などが講師となり、日本との文化比較を日本語や英、中、韓、独、仏語などで紹介し、参加者と気軽にトークを楽しむサロンや、留学生や青年海外協力隊員の帰国報告として海外の情勢などをお伝えするサロン、また、子ども向けのサロンを開催します。

◆開催時期: 毎月1回 ◆募集時期: 毎月はじめの平日

◆受講料: 300円(一部: 無料)

③海外サポート事業(留学、アジアビジネス相談)

留学相談や、アジアなど海外への事業進出を考えている方の相談を行います。 ※予約が必要

◆留学相談: 第1土曜 13:00-15:00

◆ビジネス相談: 第2木曜 13:30-15:00

④NGO 協働支援事業

主に国際協力活動を行う団体への支援事業として、国際交流会館1、2Fのパネル展示スペースや、イベントスペースを無償提供、運営サポートを行います。

◆実施時期: 随時募集(依頼により対応)

⑤イヤーエンドパーティ

外国人市民と一緒に音楽やゲームで国際交流を行う立食パーティーを行います。

◆実施時期: 12月上旬の週末

◆会費: 大人2,000円/学生1,000円 ※小学生未満は無料

◆募集: 11月上旬

⑥韓国ホームステイツアー

韓国の家庭にホームステイを行い、韓国の方々との草の根交流を行います。

◆実施時期:10月頃の2泊3日

◆参加費:渡航費並びに、実費が必要。◆募集時期:8月頃

⑦グローバルワークキャンプ

日本や海外からの留学生、海外の大学生たちが社会問題について考える合宿型ワークショップを行います。

◆開催予定日:8月19日～22日 3泊4日(阿蘇にて開催)

◆募集時期:6月頃から ◆参加費:7,000円程度の実費

⑧日韓グローバルインターンシップ事業

韓国で日本語を学ぶ学生たちが、熊本で日本語の研修やインターンシップ活動を行うための受入れを行います。

◆実施時期:5月～8月、6月～9月、10月～1月、2月

⑨海外紹介事業

海外の観光などの魅力の紹介や、海外の食と文化をテーマにしたシリーズ企画を行います。

◆実施時期:観光紹介 5月～8月／

海外の食と文化の紹介 9月～12月(4回シリーズ)

◆募集時期:それぞれ開催月の1ヶ月前

⑩日本文化体験事業

外国人市民を対象に、着物の着付けや、野点など茶道の体験を行います。

◆実施時期:10月中旬の週末 ◆募集時期:9月

◆参加費:着物クリーニング代の一部実費を徴収

V. まちづくり推進事業・・・熊本城と城下町、そして桜町と連携をはかりながら賑わいを創造します。

①オープンセンター事業

国際交流会館をもっと多くの人に知ってもらうために、楽しいイベントを実施します。

(ア)オクトーバーフェスト

ドイツの秋を代表する収穫祭「オクトーバーフェスト」を熊本でも楽しんでもらうためにビールやソーセージなどの販売を、10月に開催される「城下町おにぎわい市」、「水あかり」の開催時期に合わせて行います。

◆開催時期:10月の中旬ごろ

(イ)イルミネーション・クリスマスマーケット

冬のヨーロッパの風物詩クリスマスマーケットを開催します。

◆開催時期:12月上旬の週末

②世界音楽交流事業(ちきゅう音楽交流広場)

音楽を通じて日本(熊本)の伝統的な音楽と世界各国の音楽との融合・交流を図るコンサートを開催します。

◆開催時期:12月中旬ごろ ◆募集時期:11月 ◆参加費:無料

③子ども日本舞踊体教室

日本人や外国人の子ども向けに、日本舞踊や茶道、着付けを体験できる連続講座を開催します。

◆開催時期:5月～1月の15回コース

◆参加費:3,000円(*外国籍児童は無料)

◆申込み:4月

④会館管理運営

最大許容数230席の大ホールをはじめ、16の中・小会議室の貸出や、施設管理を行います。

◆募集時期:利用日の1年前から受付開始

⑤レンタサイクル事業

気軽に利用できるレンタル自転車の貸し出しを行います。

◆利用料:26インチ自転車 300円より、電動アシスト付き自転車 500円より

特別企画 国際交流会館オープン20周年記念事業

熊本市国際交流会館は平成6年9月にオープンしました。

今年9月、この当館オープン20周年を迎えたことを記念してスペシャル企画を開催します。 ◆実施時期:9月1日

FT(フェアトレード)ステーション! 間もなくオープン

熊本市がフェアトレードシティ(FTT)に認定をされ、今年6月4日で3周年を迎えます。当時1,000番目の認定でしたが、今では世界のFTTの数は欧米を中心に1,350以上に増加しています。残念ながら、まだアジアでは熊本市のみですが、先月3月28日から3日間、当国際交流会館で第8回となるFTT国際会議が開催され、欧米のFTT関係者に加え、アジアからも多くのFT生産者が参加しました。(当該会議参加者数は世界20ヶ国から約200名)これを機に、アジアでも弱い立場に置かれた人たちの自立をみんなで支え合える社会を構築していくFT市民運動が広がっていくことが期待されます。

FT産品は開発途上国の生産者と家族、地域の方々が自分らしく、そして健康に暮らせることが出来る収入を保証します。彼らの笑顔が浮かんできます。国際交流会館のエントランスロビーには、手づくりで、可愛い、色鮮やかな…そんなFT産品を取り扱うFTステーションがオープンします。フェアトレードのコーヒー、ティーやチョコレートに加え、地産地消の体にやさしい産品、障がい者の方々の作業所で心を込めてつくられたクッキーやパンなどが登場する予定です。どうぞご期待下さい。

* FTとは、途上国の疎外されがちな零細な生産者が作った産品を公正な価格で購入することで、彼らが貧困から抜け出し、自立した生活ができるように支援する運動です。

ちょっといわせてはいよ!

一年間の旅

中国国際交流員(CIR) 楊 淳麗さん

熊本市役所 12 階国際室の窓から熊本城が見えます。

今から一年前の春の日、日本に着いた私は、首都東京の喧騒、混乱の中に放り込まれました。オリエンテーションの後、美しく、人情溢れる熊本にやってきました。この一年を振り返りながら、熊本城を見ています。春・夏・秋・冬、熊本城の四季の風景が頭の中に浮かんできます。

成長の重さ

「光陰矢のごとし」、初めて熊本にきた時、すべてがとても新鮮でした。新しい環境で常に日本語に触れ、新しい言語・考え方・習慣を変えなければなりません。1 日が終わると毎日ヘトヘトで、帰宅したらご飯を食べる元気もなく、ぐっすり寝てしまっていたことを、昨日のこのように覚えています。

一方、仕事において、初めて市長表敬の通訳をした時に、市長の隣に座り、緊張でガタガタ震えて、話しの内容を上手に通訳出来ませんでした。また、ある学術訪問団の表敬で、教授たちが自分の研究分野について紹介する時に、経験不足と準備不足から、専門用語が分からず、うまく対応できず困りました。通訳経験を思い出すと、悔しい思い出ばかりです。

しかし、こういった経験こそ、私を鍛え、成長させてくれました。様々なハプニングに挫けることなく、「毎日が頭のトレーニングだ」と考え、仕事や異文化との交流を楽しみながら、うまくやるコツをじっくりと模索し続けてきました。今では日本に馴染み、日本の生活を楽しみ、仕事もだんだん慣れてきました。通訳の時の専門用語や人の名前はまだ苦手ですが、とにかく堂々と通訳するように心がけています。

「教える」と「教えられる」こと

「先生、昨日テレビで見た中国人が怖かったよ」、学校訪問の時、ある 3 年生の子供が私にこう言いました。その瞬間、正直ショックでした。「じゃ、先生は怖いかな?」「先生は怖くない、でもテレビに出てた中国人は怖いよ」。この対話がいつも私の心に残っています。中国は怖い人ばかりじゃない、どこでも PM2.5 や大気汚染だらけじゃない…子供、日本人々に、真の中国のことを教えたいという気持ちが日々高まってきました。



世界料理大会で中国料理作り



浴衣で日本文化体験



韓国・ドイツ CIR と一緒に女子旅

中国とはどんな国か、小学生たちに紹介することは私の仕事の一部です。また、国際交流会館で行われる「外国を知ろうサロン」と「中国語サロン」で、自国の文化や社会事情などを日本人参加者に教えることも。正直、交流員になる前は、自国の文化や習慣を普通だと思って毎日を過ごしてきましたが、このサロンで文化を紹介するため、たくさん資料を探しながら、中国の「普通」は日本で当たり前のことではないのだと初めて気づきました。人に教えるためには、自分でもしっかり勉強しなければなりません。しかし、国際交流では、「教える」ことだけではなく「教えられる」ことも大事です。サロンや授業、さらに日常生活を通して、人と直に話し、毎日新しい発見がありました。自分だけが話す場合、一方通行になってしまい、交流にはなりません。私が紹介した中国のことに対して、参加者が自分の国と比較し、意見を教えてくれるのは非常に面白かったです。国際交流の醍醐味は、この「人と人の触れ合い」にあると思います。

仕事のやり甲斐

この一年間、国際交流員としてさまざまな形で国際交流の現場で働き、異なる立場の 2 者（個人や行政機関・団体など）の間に立ち、円滑なコミュニケーションのため、言葉や文化の面で力を尽くしました。このように貴重な経験を積ませてくれるチャンスは、他になかなか無いと思います。この仕事のお陰で、色々な国の人と出会い、様々な文化を理解し、視野や将来の展望、更に自分の世界を広げることができました。

さよなら、熊本

卒業の季節、桜が咲き始め、4 月、春、入学の季節となり、別れと出会いが交差します。そして私の熊本への旅、暮らしがいよいよ終わりを迎えます。毎日温かい笑顔で挨拶を交わしてくれた市役所・国際交流会館の皆さん、お互いに励ましあい、一緒に頑張ってくれた CIR たち、家族のように世話をしてくれたホストファミリーや友達、サロンに参加して私の話を優しく聞いてくれた人々、貴重な経験と忘れがたい思い出をくれた熊本…本当に、ありがとう！

長いようで短い一年間、日本で様々なことを吸収しました。今度は自分が得たものを還元していきたいです。これから元の仕事に戻っても、新しい国に行っても、日本で与えられたたくさんの宝物のような経験を持って、自分の内なる声に正直に向き合い、分からないことを恐れず、新しい人生に向けて羽ばたきます。

熊本、さよなら。そして、新しい旅、初めまして。



誕生日を祝ってくれたホストファミリーと友達

世界を知る

このページは「世界を知る」をテーマに、国際協力については、独立行政法人国際協力機構(JICA)デスク熊本や、国際交流、協力分野で活躍している皆さんのご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介します。

It's Solomon Time!

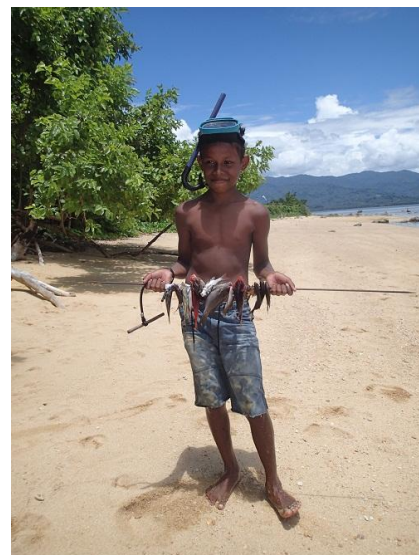
青年海外協力隊 江藤 真理子さん

(平成24年1月～平成26年1月 ソロモン派遣、職種：看護師)

私は2012年1月から2年間、ソロモン諸島で活動をしていました。みなさんにはあまりなじみのない国かもしれません。かくいう私も、派遣が決定した後に場所を調べました。そして今のところ”私がソロモンに行く、行った”と聞いて、その場所を知る人に会ったことがありません。

ソロモンは太平洋に浮かぶ、大小合わせると1000以上の島からなる国です。太平洋戦争では日本とアメリカの戦場となり、現在も国中に戦闘機や大砲といった戦争の跡が残っています。また、戦後は日本人が経営するツナ缶の工場がありました。現在はソロモン人が経営していますが、工場の名前が“大洋”なので、ソロモンの人々はツナ缶のことを「タイヨー」と言います。

私は首都から飛行機で1時間ほどかかる村の診療所で活動をしていました。ソロモンでは医師不足のため、地方では看護師が医師の役割を果たします。島が散在しているので、主となる移動手段はカヌーやエンジンボートです。家から診療所まで遠い、エンジンボートがない、燃料代が払えないといった理由で十分な医療サービスを受けることができない人が多くいるのが地方の現状です。



子どもはみんな泳ぎが得意！

“日本は外国に比べると時間を守る”とよく聞きます。実際にソロモンで生活を始めると、「ソロモンの人たちは時間にルーズな人が多いな」と感じました。しかし面白いのは、彼らもそれを自覚しているということです。飛行機が時間通りに来ない(何時間も)、村や学校のセレモニーに出席者が集まらずなかなか開始されない、店舗の開店・閉店時間が毎日ばらばら…など。待たされる人々も文句を言いません。イライラする私に彼らは「It's Solomon time!」と笑顔で言います。当初は「開き直ってどうする!？」と思っていた私ですが、人間は慣れるものです。だんだん気にならなくなり、私自身の生活も Solomon time になっていきました。

また、人が何か失敗をしてしまったり、それにより迷惑をかけてしまったりしたとき、「No wariwari.(Don't worry)」と言ってくれます。人の失敗や迷惑行為に対し、私ならついつい相手を攻めてしまいます。しかし、私自身がソロモンでの生活で、この言葉に何度も救われました。

「It's Solomon time.」「No wariwari.」どちらも悪く言えば大雑把、良く言えば寛容なソロモン人の気質を表していると私は思います。日本では Solomon time はちょっと難しいかもしれません。でも、どんなときも「No wariwari」ということができる寛容さ、心のゆとりをもちたいものだなと思います。



患者家族と（右端が筆者）

未来のために

ここでは、私たちの未来を考える上でとても重要な視点である共に生きる社会、多文化共生社会について専門家である羽賀友信さんにシリーズでご寄稿いただいています。今回は、世界で活躍したいと願う若者へのメッセージをいただきました。



筆者：羽賀 友信さん
長岡市国際交流センター「地球広場」センター長
新潟 NGO ネットワーク顧問
JICA 地球ひろば 国際協力サポーター
長岡市教育委員、JICA 専門家
※当事業団アドバイザー

世界で活躍するために 若者へのメッセージ

私の若い頃と現代で、大きく変化しているのは経済状況です。戦後35年間はGDPが17倍に成長したといわれていますが、その後の30数年間は2倍にしかありません。国際化とグローバル化が混同して使われることが多いですが、国際化とは国と国との関係を表す外交用語からきています。グローバル化はIT環境の進展により、個人が国境を越えてネット化していることを表します。この大きな2つの視点を踏まえて、若者が海外で活躍するときどのような視点やスキルが必要なのか述べてみたいと思います。

まずは専門性が必要となります。加えて語学力が当然求められますが、国際言語としての英語をベースとして多言語能力が求められます。異文化理解において多様性への対応が求められていましたが、近頃は多元性に移項しています。これはキリスト教圏の文明を中心とした世界が、イスラム教圏、アジアの多神教圏など多元な価値観で動いているからです。自分の文化の物差しから世界を見るのではなく、多文化の視点で見るのが求められています。また溢れている情報の中から、選択し活用するメディアリテラシーが必須能力となります。

もう一つの大切な能力として、クリティカルシンキングも必須になります。物事を鵜呑みにするのではなく、批判的に見て、多様な視点で考える能力のことです。とかく日本人は人を性善説で見がちですが、これは治安の良い日本で通用する価値観です。むしろ性悪説で見ることにより、本質的なことが見えてくると思います。

その他にコミュニケーション力が必要になりますが、これは大きく分けるとファシリテーション力とプレゼンテーション力になります。ファシリテーションは、多様な視点を引き出す技術のことです。それにより相手を見極め、分かりやすく伝える能力がプレゼンテーション力になります。

また最も日本人が苦手としていることが、宗教の理解です。国の成り立ちと宗教が密接に関わっている国が多く、宗教的な規範や価値観を理解しないと、なかなか相手を理解しにくくなります。

世界を学ぶことは、日本を学ぶことになります。違いを比較することで、当たり前になっていたことが、新しい視点に置き換わりよく理解できるようになります。そのためには、リベラルアーツという教養が大変重要になります。日本の文化では違いを嫌い、異質なものになることを避ける傾向がありますが、違いをストレスとせず、新しい学びのチャンスと捉えて前向きにチャレンジすることも重要です。これは異文化の中でのストレスマネジメントにも通じます。

これらの能力に加えて、好奇心が能力の基本になります。

あなたの企業も一緒に情報発信しませんか？

この「ニュースレターくまもと」は、当事業団の機関紙として平成7年11月の創刊以来、熊本の国際交流・協力に関する情報を、日本各地の国際交流協会、国際交流・協力機関や市民、在住外国人の方々を中心に幅広く発信し、国際交流・協力に関心を持つ人、開発教育関係の教育者、留学を考えている人、異文化理解に興味を持つ人など、多くの方々にご愛読いただいています。

*WEBでも公開しています。(http://www.kumamoto-if.or.jp/)

発行：年4回(4月、7月、10月、1月) 部数：3,000部

配布先：市内の小・中学校、高校、大学、全国の国際交流協会、しないの国際交流・協力団体、当事業団のボランティア登録者及び賛助会員(約500名)、熊本市役所関係機関(区役所、市民センター、公民館等)、熊本市国際交流会館内
広告の種類：1/4ページ(この広告募集のサイズです。)

契約期間及び料金：1/8のおためしサイズ(1回)5,000円単発

1/4サイズ(1回)20,000円、半年契約(2回)30,000円、年間契約(4回)40,000円

★まずは、1/8のおためしサイズ(1回5,000円)で貴社の情報を発信しませんか！

ちょっと日本語

NPO法人日本語サポートあさ
代表 小川ひろみ

新しい時代の日本語

ひと昔前なら、海外日本語学習者は特に会話や聴解能力が劣っているのは当然と思われていましたが、今はインターネットの普及やクールジャパン戦略により日本から遠く離れていても、アニメはもちろん、様々なメディアにより現代日本に精通している海外日本語学習者は少なくありません。先日滞在先のモロッコでスピーチコンテストがあり、数人がアニメから学んだ言葉や知識で国の経済や人生を語り、日本語能力だけでなく思考の深さにも感心させられました。今や来日経験がなくとも JLPT(日本語能力試験)の聴解満点も、流暢な日本語も珍しくありません。2013年12月にASEAN 特別首脳会議で表明された日本語学習支援、2020年までの7年間で3000人以上の「日本語パートナーズ」派遣が始まります。新しい時代の日本語について、日本の私たちに求められているものは何か、ちょっと考えてみませんか。

きふフロ

インターンシップ生、サポートセンターボランティアの
皆さんが綴る KIF のアクティビティ

インターネットではもっとたくさん紹介しています。
URL <http://kifblo.blog.ocn.ne.jp/blog/>

外国人のための防災訓練を実施しました

過日(3/9)、在熊外国人の方々と一緒に熊本市広域防災センターを訪れ、地震体験や火災時の煙からの避難、AED 応急手当訓練などを体験してもらいました。日本は世界の中でも地震や台風などの自然災害が多い国なので、私たち日本人の多くは学校や地域、会社などで行われる避難訓練等を通して、ある程度、その対処方法を知っていますが、海外から来た方々はそうではありません。実際に参加した外国人も、地震を知識としては知っていても、実際のどのようなものか知らない方や、このような避難訓練を体験したことがない方も多くいたようです。彼らが、今後もこの日本で暮らしていくためには、このような防災訓練等を通して、日頃からの防災意識を高めてもらい、万一の災害時にもあわてず避難や対処ができるようにしてもらいたいと考えています。また、外国人の方々は日本語が出来ないために情報弱者となり、緊急避難時の放送や避難所などでの案内が理解できずに、得られるべきサービスを受けられないこともあるようです。そのような障害を少しでも軽減していくために、私たちは彼らの役に立つことができるように取り組んでいきます。



☆平成 26 年度賛助会員募集☆

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団では賛助会員を募集しています。当事業団の活動にご理解とご支援をいただくことで、さらなる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。

会員の方々には、事業団の機関誌『ニュースレターくまもと』の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。また、当事業団主催講座の受講料会員割引特典や、国際交流会館駐車場の割引もあります。

- ① 個人会員 一口 2,000 円/年(一口以上)
- ② 団体会員 一口 10,000 円/年(一口以上)

平成 27 年 3 月までの会員期間となります。

＜入会のお申し込み・お問い合わせ＞

一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団事務局
〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館
TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783
E-mail:ad-info@kumamoto-if.or.jp

継続・新規ご加入ありがとうございました。

(平成 25 年 12 月 20 日～平成 26 年 3 月 20 日現在にご加入いただいた皆様) [個人]50 音順(敬省略)

梅田 由紀子	鮫島 博子	藤本 依真
大川 友美	田口 輝美	藤本 雅子
迫田 香愛	福島 麻美	森田 かつえ

熊本市国際交流会館 国際交流サポートセンター

開館時間 午前 9 時～午後 8 時

多文化共生オフィス TEL:096-359-4995(直通)

休館日 第 2・第 4 月曜日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

Civic Support Center for International Exchange and Cooperation
Kumamoto City International Center
Service Hours 9:00a.m. -8:00p.m.
Multicultural affairs office Phone:096-359-4995(Dial-in)
Closed: 2nd and 4th Mondays of each month, Dec. 29th-Jan. 3rd

私たちは熊本の国際交流活動を応援しています！
[団体]50 音順(敬省略)

London Bridge International School
医療法人社団 愛育会 福田病院
学校法人 君が淵学園 崇城大学
学校法人 鎮西学園
株式会社熊本シティエフエム
株式会社 ニュースカイホテル
株式会社 まちづくり熊本
九州農水株式会社
熊本学園大学
熊本交通センターホテル
熊本市地域婦人会連絡協議会
熊本日独協会
熊本日米協会
コスギ不動産
財)熊本市駐車場公社
志成館高等学院
マルヒサ食品